

令和6年度第1回男女共同参画推進懇話会 議事録

令和6年11月5日(火)13:30~15:00

宗像市役所304会議室

【参加者】

出席者:石橋委員、石山委員、魚住委員、久保委員、戸畑委員、水田委員、山田委員

欠席者:小森委員、藤谷委員

事務局:廣渡、吉武、萩野

1 はじめのあいさつ

宗像市 市民協働部 男女共同参画推進課長

2 委嘱状交付

3 会長・副会長選出

会長に石山委員、副会長に山田委員を選出。

4 議事録について

要点筆記で作成し、議事録署名人が確認、署名する。署名人は、会長と副会長を除いて名簿順とする。今回は石橋委員。

5 懇話会について

懇話会について事務局より説明。

○委員

●事務局

6 議事

(1)令和6・7年度スケジュールについて

- 令和6年度は、本日の実績報告の後、次回を12月~1月に開催し、委員が作成した評価とコメントを取りまとめたものを諮る。その上で、2月~3月に、市に提言する意見、今後の取組についてまとめる会をもつ。令和7年度に第4次プランを作成することになるため、プランの骨子、大まかな作りについて、今年度の第3回の会議で意見を頂きたいと考えている。
- 令和7年度は、例年どおりの事業内容の評価に加え、プランについても、素案、パブコメを経た最終的なプランについて意見をもらいたいと考えている。
- 基本目標を5つぐらいの分類にし、それにどのような事業をつけていくかという大筋のものを事務局が作成する予定である。
- 会議数は、第3次プラン時と同程度だが、3次の時とは異なり、事務局が原案を作成する予定である。
- パブリックコメントを7年の11月にするとすると、9月にはほぼできあがる必要があるのでは。
- 第4次男女共同参画プランの作成については、事務局が今年度中にプラン骨子を示し、懇話会の意見をもらいながら、素案をつくっていくイメージで進めたい。
- 骨格となる部分は、あまり大きくは変わらないので、新たに生じた課題をどう盛り込んでいくのか、どう取り組んでいくのかという肉付けが、大事な作業だと考えている。
- これまでどんな課題があったのかを整理した上で、次のプランでは、「懇話会や現場で出た課題がここまで反映できました」が必要である。
- プランの文章も大事だが、新しいプランでは、「どういう所が改善されたのか」がはっきり見えた方が、新規で加入された方もいる中で共通の議論ができて良い。
- 女性支援新法、困難な女性を支援する法律が6年の4月に施行されているが、基本となることが盛り込まれるのかど

うか、市としては、どんな考えなのかを知りたい。

- 市としては別立てでの計画は考えていないので、このプランの中に盛り込んでいく形になる。

(2) 令和5年度実施状況(重点項目)及び評価について

①基本目標1「地域社会活動における男女共同参画」

- 主な事業の実施状況は、記載のとおりだ。目標値として掲げている「審議会への女性委員の登用率」については、令和5年4月1日の調査で、37.8%、前年比0.3ポイントの上昇となっている。施策の進行状況としては、地域の女性登用の推進について、自治会の負担軽減の取組と併せて、地域活動への女性参画の実態把握に努め、コミュニティ運営協議会役員の比率は増加しているという報告を受けている。コミュニティ課の調査によると、コミュニティ毎の女性役員の割合は、3.6%から30%、平均でいうと15.5%ということである。事務局評価は、「ある程度達成しているが一部課題が残る」のBとしている。この事務局評価については、ABCDでの自己評価による事業評価で、達成度がAのものから順に4. 3. 2. 1. 0点として計算し、3.5以上、四捨五入して4になるものについては「A」という形で、合計を出して総事業数で割った数字をもとに行っている。
- 地域間で格差が大きく、それを考慮した働きかけが必要だということが改めて分かった。
- 本日配付している令和5年度に実施した市民意識調査なども参考にして効果的な取組を検討していく。
- 今年度も、男女共同参画センター「ゆい」が、各地区のコミセンへ出向き、実情の聞き取りであったり、コミセンでの出前講座開設の案内をしたりする予定である。
- 審議会への女性登用率がわずかに0.3ポイントの上昇にとどまっており、引き続き登用の働きかけを行っていきたいが、規定によって「役職の方に委員を頼む」というようにしている協議会もあり、仕組みとして女性が登用されにくい状況があることについては、担当課と協議をしてくている。

②基本目標2「働く場における女性の活躍推進」

- キャリアアップに資する情報提供として、講演会や女性応援セミナー、起業セミナー、資格取得セミナー等を実施して、就業促進に取り組んでいる。また、市内70事業所を人権啓発と共に訪問して、県が実施する事業等の情報提供を行い、介護や育児との両立に関する実態調査等、アンケートも実施してきた。目標値と実績については、fabbit宗像を利用して創業した女性の方が、令和4年までの累計で3人が目標値だったが、既に達成しており、5年度の創業者数はゼロだが、累計は4人となっている。市の役職者、企画主査以上に占める女性の割合は、令和5年度で28.4%となっている。
- 昨年度の懇話会の評価のコメントで「県実施の事業を市内の事業者を紹介し、利用促進するというのは効果的ではないか」という意見があったので、県の事業を案内することを事業所訪問の内容に盛り込んだ。
- 結婚、出産、育児のために離職した女性を対象にした再就職支援について、男女共同参画推進課で、結婚、出産、子育てで一旦離職した方の資格取得支援を開始した。

③基本目標3「ワークライフバランスの推進」

- 性別にかかわらず家庭参画する意識の向上のため、講座等を通じて意識啓発に取り組んでいる。また、子育て・介護支援の充実として、特に、保育、学童保育の施設整備等を行い、継続して待機児童ゼロに取り組んでいる。
- 性別にかかわらず、共に家庭参画する意識の向上のためのリーフレットを作成し、健診や母子手帳交付の機会を活用して配付する等の取組を行っていく。
- 保育の充実に関しては、今年5月から病児保育のお迎えサービスをスタートさせる。
- 令和6年度4月時点の待機児童は、引き続きゼロになっている。

④基本目標4「誰もが安全、安心に暮らせる社会づくり」

- DV相談の認知度が65%から67%で、2ポイント上昇はしているが、目覚ましい成果を上げられていないのが現状である。様々な媒体を通して、相談窓口の周知、暴力を許さない意識の醸成を目指した啓発を行っている。さらに、関係機関と連携して、DVハラスメントへの対応も行っている。また、市の関係職員を対象に、相談者の対応支援についての研修会を実施し、意識向上に役立っている。この研修は、既に2年間行っていて、今年度も実施を予定しており、繰り返すことで市の職員への意識啓発を進めていきたいと考えている。目標値と実績については、市民アンケート

ートによるとDV相談窓口の周知度は67%で、引き続き、認知度向上のための広報活動を行い、DV被害者等の安全確保のための連携強化に取り組んでいきたいと考えている。

⑤基本目標5「男女共同参画社会の実現に向けた啓発」

- 男女共同参画という言葉の認知度が、56%から55%と1ポイント低下となった。男女共同参画センターの共催講座や地域コミュニティとの交流、活動支援を通して、意識の向上に取り組んでいる。
- 今後は、様々な媒体を活用した市民啓発に取り組む。特に、懇話会でも指摘があったSNS、ホームページをさらに活用したり、講座の録画配信の数を増やしたりするよう取り組む。
- 講座の録画配信について、講演会だけでなく、通常の講座についても少しずつ配信していくようにしたい。
- 今まで共催講座は、地域コミュニティの負担金があったが、今年度から初回に限り費用はセンターで負担するようになっており、利用がしやすくなっていると考えている。

○実施状況報告については、この後「質問シート」を各委員が提出するので、不明点などはそちらで確認することにする。

- 頂いた質問とその回答は、他の委員のみなさまにもお知らせするので、内容を確認いただき、「評価シート」を提出いただきたい。

7 報告（市民意識調査について）

- 令和5年度12月に実施した市民意識調査では、進んだところもあるが、役割分担、性別役割分担意識については、年代によって考え方に差があることがわかった。今回の調査では、年齢の高い方の回答の割合が高い状況なので、それも踏まえて、結果をプラン等に反映させていく必要がある。

議事録署名人 宗像市男女共同参画推進懇話会 委員

石橋 文恵